

【第2報】E41東海北陸自動車道 上り線 99.1KP付近 雪氷作業中接触事象報告

【発生日時】 2025年2月5日（水）午前4時55分頃

【発生場所】 E41東海北陸自動車道 荘川IC～飛騨清見IC 上り線 99.1KP付近

【工事件名】 2024年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 上り線 99.1KP付近の梯団作業を行うため3番車で頭押さえを開始した際に後方から接近していたトラック（お客様車両）が接触したものの、頭押さえを行う際に、ミラー及び目視にて後方確認を実施。除雪車は、後方にトラックが来ているのを確認していたものの距離（200m程度）が離れていたため頭押さえを開始。頭押さえを実施したタイミングで3番車右後方とトラックの左ミラーが接触したものの、
※車両（頭押さえ3番車）は、接触したことに気付かず、路肩側へ移動した。
（後方からの車両が近い認識もなし）
※ミラーで後方確認した所、ロードガッターにはまってスタックしたと認識し、HSCへ連絡
※当時の天候：路面 圧雪・時間降雪 3cm程度。

【被害状況】 物的損害：相手方：トラックの左ミラーを損傷
当 方：擦り傷程度（修理の必要無）NEXCO確認済

警察見分結果：雪氷車両・お客様車両ともに注意すべき点はあった。合流の際には、相手が認識していないかもしれないということを意識し余裕をもって作業してほしいとのこと。

【第三者被害】 左ミラー損傷

【マスコミ報道】 なし

【時系列】

- 4：55頃 3番車（頭押さえ車両）と接触。
- 4：55 除雪車両（3番車）が中分側のスタック車両を発見、HSCへ連絡、レッカー等を手配。
- 5：30 警察車両現着、雪氷車両に接触しスタックしたとの申し出があり。
- 6：27 HSCよりDKCに状況を報告。
- 6：40 メンテ事業所 副所長よりメンテ本社に報告。
レッカー作業終了、荘川インターに向け離脱
- 7：00 荘川インター着 お客様、警察、当該運転手との事情聴取終了

【対策】 各基地へ車間距離の重要性を説明、車間確保への注意喚起を実施。
※特に天候による視界が悪い時などは、『慌てず、余裕をもって』の作業実施を指導。
※指示者も現場への作業連絡は、作業内容の他に、安全に関する注意喚起も併せて伝えるように周知。



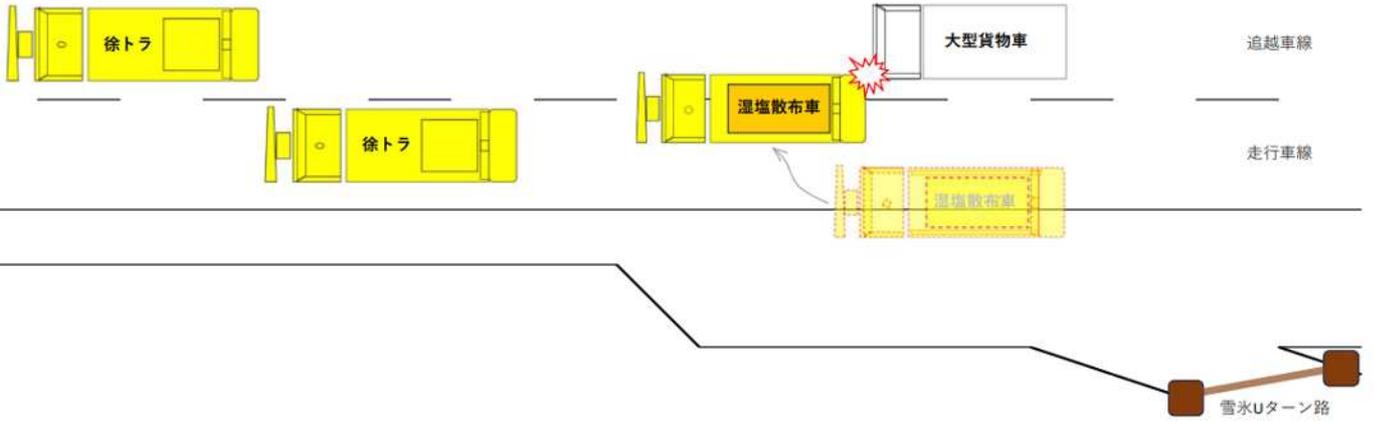
事故車両(お客様車両)



事故発生時

(至) 名古屋方面

(至) 高山方面



事故発生後

(至) 名古屋方面

(至) 高山方面

ロードガッターにはまり、スタック



事故車両(お客様車両)



事故車両(除雪車両)

